

この通信の著作権は妻中学校が有します。無断で文章・画像などの転載を禁じます。

第79期生徒会スローガンが決定！



デザイン原画：児玉歩美さん

第79期・妻中として最後の生徒会スローガンが「桜翼（おうよく）」に決まりました。「桜」と「翼」の文字は、妻中の校章に由来しています。

今期生徒会はこの2文字について次のような気持ちを持っていきます。■西都市のシンボルである桜に「何度でも挑戦する心」を込めている。桜は何度散っても必ず次の年に花を咲かせます。

■翼には、それぞれの未来（妻中から西都中へと続く未来、個人の将来）に向かって羽ばたこうとする姿を込めている。

■またサブタイトル「個性の花を咲かせ、共に創ろう未来への翼」には、最後の妻中生としてお互いを認め合い、未来に向けて共に高め合っているという願いが込められています。

妻中としては最後の4か月間となりますが、このスローガンのもと、79年の歴史の締めくくって欲しいと思います。

コスモス授業（人権教育特別授業）を行いました！



巻きスカートで登場

休憩時間の様子

グループワークの時間

12月4日からの人権週間において、妻中恒例の「コスモス授業（人権教育の特別授業）」を行いました。本年度は、世界的にも有名な兵庫教育大学の小川修史教授をお招きし、楽しく和やかに人権について考えを深めました。小川教授は、障がい者を対象にしたパリ・コレ開催や障がい者も楽しめるファッション制作に取り組んでもおられるので、その経験談も交えながら、どのような立場の方々に投げかけてくださいました。車椅子の方でも着用できる巻きスカートで登場し、足が長く見えるバナナブーツや前から着るジャンパーなどを紹介。休憩時間には生徒たちも着用しました。

三真^{わたち}の轍

アナログ時代の遊び

閉校記念の座談会をした際に宮崎大副学長の藤井良宜先生（32回卒）が話しておられた「日曜日にはみんなで西都原に集まってソフトボールをしています」という話がとても印象に残っています。

（この逸話は閉校ムービーにも収録されています）▼まだ家庭用ゲーム機がなかった時代は、遊びといえばみんなで集まって外で遊ぶのが普通でした。プロ野球全盛期の名残で男子はほぼ全員キャッチボールができてましたのでソフトボールは格好の遊びでした。私の世代も藤井先生同様、西都原でソフトボールをしていました。中でも期末テストの最終日に皆で集まって遊ぶのが楽しみで、（今では遊泳禁止ですが）夏は川へ泳ぎに、それ以外の時期はソフトボールをやりました。下校の時間までに主催者の友人から靴箱に案内の手紙が入るのが楽しみだったのを覚えています▼それからしばらくすると、家庭用ホームビデオが普及したり（SONYのベータ方式と日本ビクターのVHS方式がしのぎを削ってました）、任天堂のファミコンが

登場したりして、遊びのスタイルは多様化していきました。アナログ時代は大勢の人数が集まってワイワイガヤガヤとやってましたので、コミュニケーションの力はそこで培われていったのかもしれない。今では更にスマホも普及してきましたので、余暇の楽しみ方もますます多様化してきました。皆さんはどのように過ごすのが好きですか？（校長 伊東泰彦）



西都原でのソフト（イメージ）

閉校記念ムービーが完成

閉校記念誌にDVDをつけてます

昨年度末から取り組んできた妻中学校の閉校ムービーが完成しました。記紀の道をテーマにした「みちのみちのり」等のドキュメンタリー映画で有名な古木洋平監督に監修していただき、生徒が構成を考え、生徒と職員とで撮影した映像を古木監督に編集していただきました。全15分のムービーは、閉校式で上映する他、「閉校記念誌」にDVDとして付録していただきますので、ぜひ閉校記念誌の購入にもご協力ください（妻中事務室で予約販売受け付け中）。制作スタッフの生徒の皆さんありがとうございました。



一行詩コンテストで学校賞

令和7年度の『一行詩「生命のこえ」コンテスト』が行われ、本校が「学校賞」をいただきました。今年作品には「父母への愛」「祖父母とのつながり」などを素材にした作品が多かったそうです。次の本校の受賞者作品もそうです。

「いってらっしゃい」毎日言われる母からの言葉。

気をつけて、そして無事に帰ってきて

かけがえのない言葉

妻中PTAが表彰されました！

これまでのPTA活動や閉校・開校に向けた取組が評価され、県PTA連合会より表彰状が授与されました。PTAの皆さんおめでとうございます



学校の環境整備

12月20日、妻中応援団の皆様が毎年恒例の門松を制作していただきました。ありがとうございました！



校訓の石碑の文字をきれいにしました

12月20日、2年生の井上咲花さんが文字を塗ってくれました。

